

山岳部 全道大会選手メインザック歩行訓練を兼ねて手稲山（平和の滝コース）を登りました （6月23日（土））

26日から始まる全道大会では、1日目の山行でメインザックを背負って歩く事になります。そこで選手の歩行訓練を兼ねて、大都会札幌にある変化に富むコースが魅力の手稲山を登ってきました。この日は山岳マラソン大会が行われており、駐車場も満杯。多くのランナーに道を譲りながらの山行となりましたが、雨にも当たらず良い訓練登山となりました。まずは、恒例の平和の滝での記念撮影。この後、選手はメインザック、その他のメンバーはサブザックを背負い登山口を出発。発寒川を横目に自然豊かな登山道を進み、渡渉の後休憩ポイントにて休憩。さらに進むと布敷ノ滝が現れます。その後ロックガーデンに入り、長い岩場歩きが続きます。そして辿り着いた山頂周辺は他では見られない様々なテレビ局の巨大アンテナ群。ここに来てこの山は大都会の中の山なのだと思います。風の強い山頂には手稲神社奥宮があり、お祈りをして記念写真を撮りました。快調に下山し、いつもの様に手稲極楽湯できれいに汗と疲れを洗い流し、岩見沢へと帰って来ました。



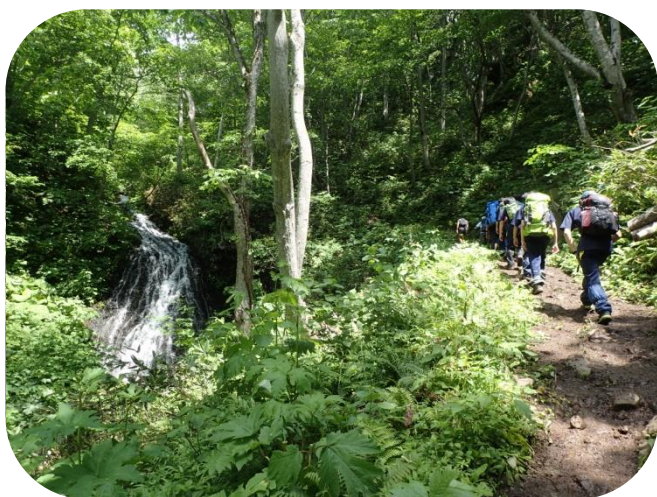
平和の滝



選手はメイン、他はサブのザックを背負って



山岳マラソンコースになっていました



布敷ノ滝の横を進みます



ロックガーデンで休憩



手稲山山頂



小川の流れる休憩場所